

明石工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	電気電子工学実験 I
科目基礎情報					
科目番号	0022	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験	単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	電気情報工学科 (電気電子工学コース)	対象学年	4		
開設期	通年	週時間数	4		
教科書/教材	必要に応じてプリントを配布したり参考文献を紹介する。				
担当教員	上 泰, 周山 大慶, 廣田 敦志, 藤野 達士, 寺澤 真一				
到達目標					
1. 班毎の実験に積極的に参加し, 班員と協力しながら実験を遂行できる 2. 基礎的な実験遂行能力を基に, 計画的に実験を行い, 実験結果を解析できる 3. 実験結果を正しい文章表現で報告書に纏めることができる					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	班毎の実験に積極的に参加し, 班員と協力しながら実験を遂行できる	班員と協力しながら実験を遂行できる	実験を遂行できない		
評価項目2	計画的に実験を行い, 実験結果を解析できる	実験結果を解析できる	実験結果を解析できない		
評価項目3	実験結果を正しい文章表現で報告書に纏め, 提出期限を守って提出することができる	実験結果を正しい文章表現で報告書に纏めることができる	実験結果を報告書に纏めることができない		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (G)					
教育方法等					
概要	本科目では, これまで習得した電気情報の知識や技術を, 実験テーマを通じて理解・確認しながら, 新たな問題にも実践的に解決できる能力の習得を目標とする。また各テーマごとに報告書の提出を求め, 科学的報告書に必要な文章表現の習得も目標とする。班単位で実験を進めていくことで, 自主性や協調性, 計画性, 指導性などの涵養にも配慮する。計測回路関係は藤野が, 制御関係は上が, 回路・マイコン関係は周山と寺澤が, 強電回路関係は廣田が担当する。なお, 後期第4週・第8週の実験は, 企業で電子機器開発業務等に従事していた者が担当する。				
授業の進め方・方法	計測, 回路, 制御, マイコンなど, 電気電子分野に関連が深いテーマについて, 4, 5名からなる班単位で実験を行い報告書を提出する。実験を行うにあたり, 必要な各自の準備・予習, および, その場での実験担当者からの説明内容をもとに, 自主的に与えられた実験を進めていく。				
注意点	期限内に報告書の受け取り完了をされないと合格にならない。実験室の清掃と器具, 用具の片付けまで行うこと。実験についての諸注意は前期後期の第1週に指示する。全ての実験に参加すること。合格の対象としない欠席条件(割合) : すべての実験に参加していないと合格の対象としない。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	実験のガイダンス	工学実験に関する諸注意と各実験テーマの概要を理解できる	
		2週	ロジックトレーナII (設計)	4ビット入力に対し, 指定されたコード変換で7セグメント素子に表示する符号変換器を設計し, 論理シミュレーターを用いた動作確認ができる	
		3週	ロジックトレーナII (回路製作)	前週に設計した符号変換器をロジックトレーナ上で実現できる	
		4週	LEGO ロボットI	LEGO ロボットの組立とコントロールプログラムの作成ができる	
		5週	LEGO ロボットII	前週作成したロボットのデバッグ作業を行い完成させることができる	
		6週	レポート整理	実験を行ったテーマについて結果を検討し, 報告書にまとめることができる	
		7週	コンピュータ計測I	コンピュータと計測用インターフェースを用いて波形測定と処理を行うことができる	
		8週	コンピュータ計測II	コンピュータと計測用インターフェース・サーミスタを用いて温度計の作製を行うことができる	
	2ndQ	9週	直流電圧安定化回路	整流回路における電圧安定化回路の特性を調べることができる	
		10週	電動機の世界制御	電動機の世界制御方法について理解できる	
		11週	レポート整理	実験を行ったテーマについて結果を検討し, 報告書にまとめることができる	
		12週	交流自動電圧調整装置	交流自動電圧調整装置によって制御系の動作を理解できる	
		13週	発振回路	代表的な発振回路数種類について諸特性を調べることができる	
		14週	低周波増幅器の特性	ブッシュアップ増幅器の回路動作と特性を調べることができる	
		15週	レポート整理	実験を行ったテーマについて結果を検討し, 報告書にまとめることができる	
		16週	期末試験実施せず		
後期	3rdQ	1週	実験のガイダンス	工学実験に関する諸注意と各実験テーマの概要を理解できる	
		2週	シーケンス制御I	リレーシーケンス制御の基礎を理解できる	

4thQ	3週	シーケンス制御II	リレーシーケンス制御方式により指定された仕様を満足する制御回路を構築できる
	4週	マイコン制御	組み込み用マイクロコンピュータを用いた制御システムを構築できる
	5週	レポート整理	実験を行ったテーマについて結果を検討し、報告書にまとめることができる
	6週	光PCM 通信	E/O, O/E 変換器の入出力特性の測定, 光PCM 通信の基礎について理解できる
	7週	レポート整理	実験を行ったテーマについて結果を検討し、報告書にまとめることができる
	8週	AM 変調回路	振幅変調回路の特性について理解できる
	9週	レポート整理	実験を行ったテーマについて結果を検討し、報告書にまとめることができる
	10週	変圧器の等価回路	変圧器の等価回路と定数を求めることができる
	11週	レポート整理	実験を行ったテーマについて結果を検討し、報告書にまとめることができる
	12週	AM 受信機の特性	AM ラジオの各回路の特性を理解できる
	13週	レポート整理	実験を行ったテーマについて結果を検討し、報告書にまとめることができる
	14週	PWMインバータによる誘導電動機の可変速制御	PWMインバータの原理と誘導電動機速度制御について理解することができる
	15週	まとめと整理	実験のまとめと整理を行うことができる
	16週	期末試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	物理、化学、情報、工学における基礎的な原理や現象を明らかにするための実験手法、実験手順について説明できる。	4		
			実験装置や測定器の操作、及び実験器具・試薬・材料の正しい取扱を身に付け、安全に実験できる。	4		
			実験データの分析、誤差解析、有効桁数の評価、整理の仕方、考察の論理性に配慮して実践できる。	4		
			実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。	4		
			実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。	4		
			実験データを適切なグラフや図、表などを用いて表現できる。	4		
			実験の考察などに必要な文献、参考資料などを収集できる。	4		
			実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。	4		
専門的能力	分野別の専門工学	電気・電子系分野	電力	直流機の原理と構造を説明できる。	4	
			電気・電子系分野【実験・実習能力】	電気・電子系【実験実習】	電圧・電流・電力などの電気諸量の測定が実践できる。	4
	抵抗・インピーダンスの測定が実践できる。	4				
	オシロスコープを用いて実際の波形観測が実施できる。	4				
	電気・電子系の実験を安全に行うための基本知識を習得する。	4				
	キルヒホッフの法則を適用し、実験結果を考察できる。	4				
	分流・分圧の関係を適用し、実験結果を考察できる。	4				
	ブリッジ回路の平衡条件を適用し、実験結果を考察できる。	4				
	重ねの理を適用し、実験結果を考察できる。	4				
	インピーダンスの周波数特性を考慮し、実験結果を考察できる。	4				
	共振について、実験結果を考察できる。	4				
	増幅回路等(トランジスタ、オペアンプ)の動作に関する実験結果を考察できる。	4				
	論理回路の動作について実験結果を考察できる。	4				
	ダイオードの電氣的特性の測定法を習得し、その実験結果を考察できる。	4				
トランジスタの電氣的特性の測定法を習得し、その実験結果を考察できる。	4					
デジタルICの使用方法を習得する。	4					

評価割合

	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	20	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0